

2018年日本建築学会教育賞受賞事業



設計せよ。

機能的な消防屯所を

地域の行動変容を促す、

Think a Brand-new
"Local fire department"

ひろしま建築学生
チャレンジコンペ

2022

@みはら

広島県三原市

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2022

@みはら

審査結果

共催



三原市



広島県

協賛



総合資格学院



大旗連合建築設計株式会社
OH-HATA ARCHITECTS & PARTNERS



株式会社テクシード
RE:FACTORY



まちづくり三原

TOTO

■家成俊勝委員長 講評 |

学生の皆様お疲れ様でした。最終審査では非常に精力的な案が出揃い、審査も非常に難しいものとなりました。私自身審査委員長として最優秀作品を選ぶ責任の重さを審査段階から感じておりましたが、最後にはみなさんで非常にいい案を選べたと思っています。

建築というのは現代の社会において、設計だけではなくまちのこと、地域のこと、さらには地球のことまで考え、狭い世界の閉じた空間の話だけではなくて、領域をどんどん拡大していくことで、みんなが豊かに暮らせる状況をつくれるものだと思って私自身も設計しております。

そういった意味でみなさんはこれから建築、まちの歴史・文化を作っていく世代だと思います。今回残念ながら落選された学生の皆様もこれから素晴らしい未来があると思うので、切磋琢磨して共に頑張っていければと思います。どうもありがとうございました。

■審査委員会 |

委員長	家成 俊勝 <small>いえなり としかつ</small>	建築家, dot architects 主宰, 京都芸術大学教授
委員	土井 巨 <small>どい わたる</small>	建築家, dot architects , 京都市立芸術大学非常勤講師
	成田 和弘 <small>なりた かずひろ</small>	建築家, Kufu 一級建築士事務所主宰, 広島工業大学非常勤講師
	岡田 吉弘 <small>おかだ よしひろ</small>	三原市長
	的場 弘明 <small>まとば ひろあき</small>	広島県土木建築局総括官 (建築技術)

■審査スケジュール |




◇応募登録申込期間：令和4年7月2日(土)～9月9日(金)

◇作品提出期間：令和4年9月9日(金)～9月15日(木)

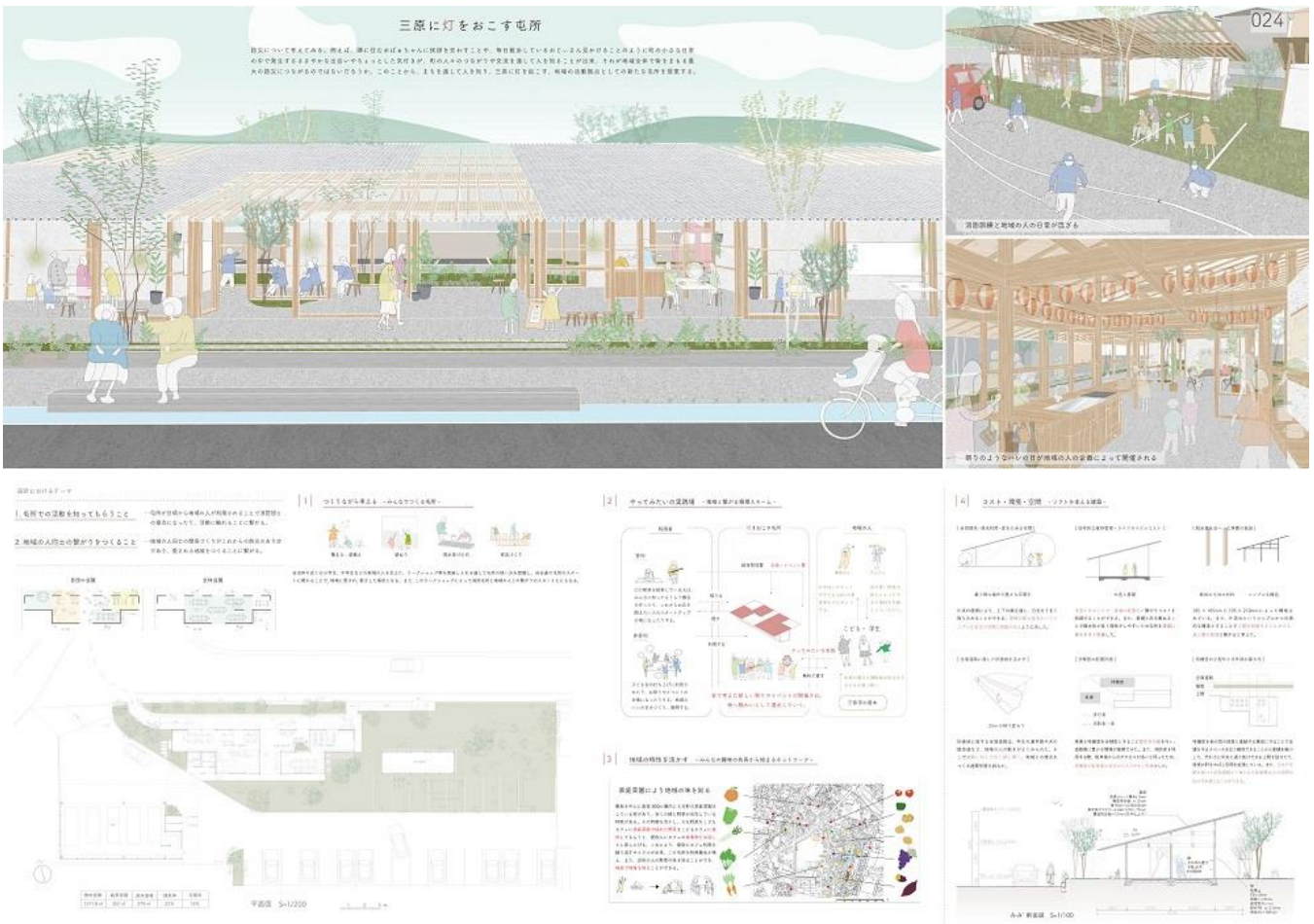
◇一次審査：令和4年10月1日(土)

◇最終審査：令和4年11月12日(土) @三原市芸術文化センター

■審査過程 |

BEST-25	1次審査委員会の審査投票で選ばれた25作品
	… 全46作品を対象に、各委員が選定したい作品に投票し、1票以上獲得した作品 (各委員がそれぞれ10作品へ投票)
BEST-8	【入選・特別賞作品】1次審査を通過した5作品+特別賞を受賞した3作品
	… 25作品を対象に、委員の議論により選定した、上位8作品
BEST-3	【優秀作品】最終審査委員会の審査過程で選ばれた3作品
	… 5作品を対象に、委員の投票・議論により選定した、上位3作品
BEST-1	【最優秀作品】実際に建設する作品
	… 3作品を対象に、委員の議論により選定した作品

024 | 篠村悠人, 船山武士, 上垣勇斗 (近畿大学大学院)



BEST-1	委員の議論により選定	家成
BEST-3	投票した審査委員	
BEST-8	委員の議論により選定	
BEST-25	投票した審査委員	家成, 土井

委員コメント

- ・分棟型の提案でそれぞれの建物に機能を持たせつつ、外部空間と合わせて使っていける可能性があり、魅力的である。敷地周辺のヒアリング調査をくまなく行うなど地域をよく知ろうとしていることが伝わる作品で、地域の特性を活かすことを、建築の枠に留まらずに意識していることに好感が持てる。(家成)
- ・建物の建ち方が良く、まちに対して勾配をとり配慮している点に好感が持てる。(土井)

■ 優秀作品 (BEST-3) |

034 | 曾根 大矢, 粕谷 しま乃 (近畿大学大学院)

小さく聞き大きく包む

「気になる」を誘発する「小さなスキマの連続」によって自然に地域の人と利用者が繋がる前庭空間を提案します。人の視線の行動を引くスキマ空間により包摂的に人になくても開放的な空間に感じているような不連続な感覚を伝える。壁に響け込む潤滑な空間を目指します。

【主な空間機能】

機能的な平面計画と街を引き込むスキマ

1. 既存電所のデザインからくる消防団に対する認知度の低さ

2. 落ち着きある街並みと、新たな活動拠点となる電所のデザイン

3. 住人の「気になる」を誘発し、街に寄り込む開けたデザイン スキマ

大層感の下に広がる一体感ある清潤な空間

様々なスキマに気づくと引き込まれている

スキマから見える向こう側と活動の生活

平等と会席と待接室が繋がる一体空間

BEST-3	投票した審査委員	成田, 岡田, 的場
BEST-8	委員の議論により選定	
BEST-25	投票した審査委員	家成, 土井, 成田, 的場

委員コメント

- ・ すき間(緩衝)空間に今後の可能性や楽しみを持たせている点に他にない魅力がある。狭さを感じさせずむしろ開放的に感じさせる工夫も良い(成田)
- ・ コンセプトが良い。地域の実際に使う人に配慮してすき間をうまくつくられている点が素晴らしい。(岡田)
- ・ 機能的な隙間、壁の透明感がありながらの隙間、隙間をいろいろな点から見せており面白い。(的場)

■ 優秀作品 (BEST-3) |

054 | 宮地栄吾, 谷口愛理, 田村真那斗, 原琉太, 藤巻太一, 村田龍星 (広島工業大学・大学院)

三原に、いま、どんな消防屯所が必要か？
 「三原市」の消防屯所は、一人一人が住みやすいまちづくりの第一歩が消防屯所づくりである。消防屯所は、地域の防災拠点として、地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。また、地域の防災拠点として、地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

消防屯所の見え方
 この建物は、市民、消防団員、地域の住民、地域の事業者など、さまざまな人々が集まる場所である。この建物の見え方は、地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

車庫と待機室の反転
 従来の消防屯所では、車庫と待機室が別々の建物であった。この建物は、車庫と待機室を一体化して、地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

公共施設に木造を
 本庁舎を木造とする。木造建築は、地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

学校に対して開く
 学校に対して開く。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

歩道に対して開く
 歩道に対して開く。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

日常に溶け込む消防屯所
 日常に溶け込む消防屯所。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

住宅地側へ開く
 住宅地側へ開く。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

待機室のフレキシビリティ
 待機室のフレキシビリティ。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

施設可能かつ住民のための場所を
 施設可能かつ住民のための場所を。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

省エネルギー化の実現
 省エネルギー化の実現。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

外構計画
 外構計画。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

コスト削減
 コスト削減。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

省エネルギー化の実現
 省エネルギー化の実現。地域の防災意識を高め、地域の防災力を高める役割を果たす。

BEST-3 委員の議論により選定

BEST-8 投票した審査委員

BEST-25 委員の議論により選定
投票した審査委員

土井, 岡田, 成田

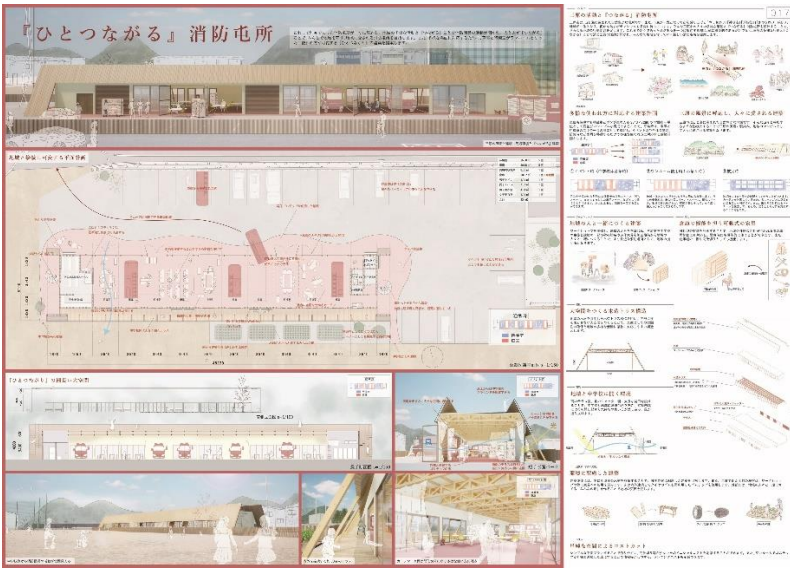
家成, 土井, 成田, 的場

委員コメント

- ・ 南側の消防車への動線計画や消防車両の幅にゆとりを持たせている点など、コストを含めてひとつの建築に対して総合的にバランスが取れ密度の高い作品となっている。(土井)
- ・ 地域に対する開き方がとてもうまく、外構を積極的に計画している点、車両の見せ方を工夫している点も良い。(成田)
- ・ シンプルながらも行動変容を促す一工夫がされている。(岡田)

■入選作品 (BEST-8) |

017 | 川島 昂次朗, 山道 里来(東京理科大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

家成, 土井,
成田, 岡田,
的場

委員コメント

- ・ひとつの大きな居室をつくる明確なコンセプトがあり, 使い方について今後の発展性があり, 使いながらコンセプトを崩さずに考えていけるフレキシビリティがある。(土井)
- ・建築的なプロポーションが良い。行動変容を促す工夫・ゾーニングもよく考えられている。(的場)

■入選作品 (BEST-8) |

019 | 川岡 聖夏, 矢口 絵理奈(岡山県立大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

土井, 成田

委員コメント

- ・車両の止め方が他になく, 配置が非常に面白い。(土井)
- ・ショーケースのような消防車両の見せ方が特徴的で面白い。(成田)

■審査委員長特別賞作品 (BEST-8) |

016 | 津田 智哉, 今村 大, 馬場 琉斗, 黒川 朋希, 佐藤 慧 (工学院大学大学・大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

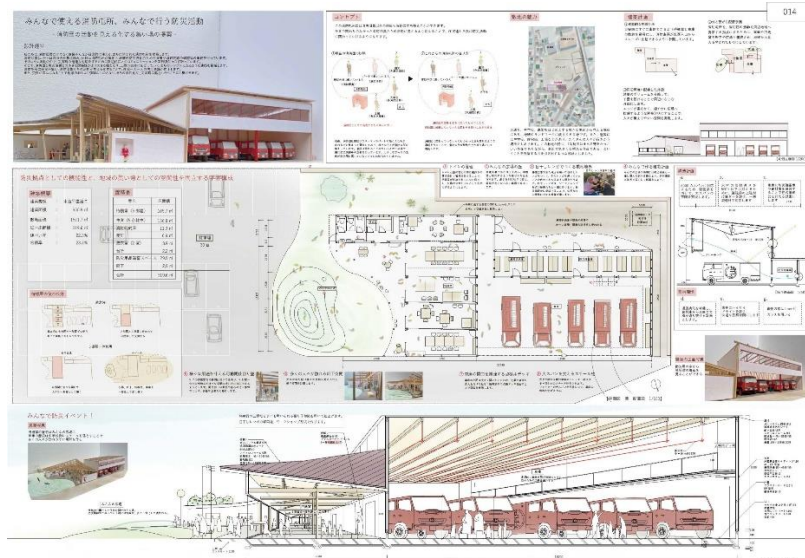
家成, 的場

委員コメント

・建築を通して何がしたいのかが非常に見えた作品。建物だけでなく、三原の環境などのプロダクトから展開したり、ワークショップを提案したりと、地域を巻き込みながら建築を作りたい意思を感じられた。(家成)
 ・ボリューム操作で建物の形態を考えた点も分かりやすくして良い。(的場)

■三原市長賞作品 (BEST-8) |

014 | 河村 悠太, 藤本 梨沙 (横浜国立大学大学院)



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

土井, 岡田
的場

委員コメント

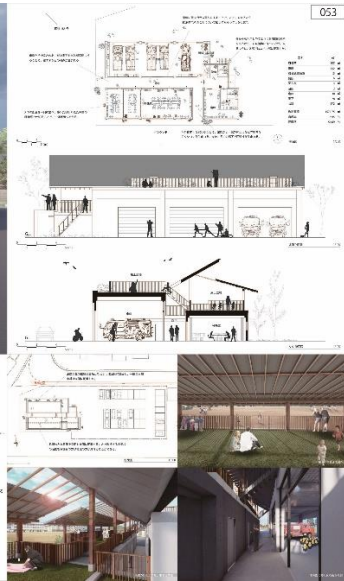
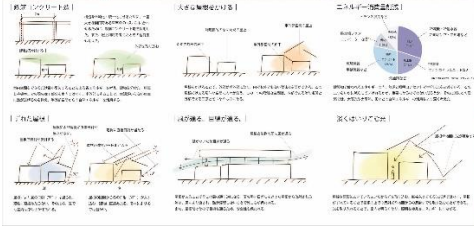
・東側に広場を設けることで、待機室と屋外が繋がる空間がある。外構を積極的に取り込んだ設計がされており良い。(土井)
 ・広場があり、屋根の形状が包み込む印象があり魅力的である。住民が消防団を身近に感じられそうあり、気軽に立ち寄れる屯所である。(岡田)

■ 消防長賞作品 (BEST-8) |

053 | 杉山 星斗, 中本 圭輔 (近畿大学大学院)



みんなのたむろば
 消防署の役割は、火災や災害から地域を守るだけでなく、地域の活性化や防災教育の場としても機能することです。本プロジェクトは、地域の中心となる場所として、住民の交流の場や防災教育の場として活用されることを目指しています。



BEST-8 委員の議論により選定

BEST-25 投票した審査委員

岡田

委員コメント

・屋上に上がることができ、中学校の様子を見ることができることから、住民にとっての身近な屯所になりうる。(岡田)